

令和4年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査実施状況等について

1 学力検査受検者数等について

() 内は昨年度の人数及び倍率

事 項	課 程		定 時 制	
	全	日 制	定	時 制
第一次募集の定員	5,650 人	(5,577 人)	380 人	(554 人)
志願者数 A	6,121 人	(6,143 人)	253 人	(121 人)
辞退者数 B	251 人	(277 人)	13 人	(4 人)
欠席者数 C	16 人	(5 人)	11 人	(1 人)
受検者数 A-(B+C)	5,854 人	(5,861 人)	229 人	(116 人)
選抜の対象者数 A-B	5,870 人	(5,866 人)	240 人	(117 人)
実質倍率	1.04 倍	(1.05 倍)	0.63 倍	(0.21 倍)

(注1) 第1時限終了時の人数及び倍率である。

(注2) 「第一次募集の定員」及び「志願者数」には、推薦入学、岩国商業高校東分校・山口松風館高校・下関双葉高校で実施している特別入学者選抜及び周防大島高校(普通科・地域創生科)で実施している連携型入学者選抜における合格内定者数、並びに高森高校と中高一貫教育を実施している高森みどり中学校から同高校への入学予定者数は含まれない。

(注3) 実質倍率は、「選抜の対象者数」を「第一次募集の定員」で割った数値である。

2 学力検査出題概要について
別紙のとおり

《参考》

◎ 学力検査について

(1) 検査教科

国語、数学、英語、社会及び理科
(英語はリスニングテストを含む。)

(2) 配 点

各教科とも50点

(3) 時 間 割

右の表のとおり

(4) 実施学校・学科数

全日制 46校6分校 112学科1コース
定時制 6校1分校 11学科

学力検査時間割表

時限	教科	検 査 時 間
1	国語	9:00 ~ 9:50 (50分)
		(休 憩)
2	数学	10:10 ~ 11:00 (50分)
		(休 憩)
3	英語	11:20 ~ 12:10 (50分)
		(昼 食)
4	社会	13:00 ~ 13:50 (50分)
		(休 憩)
5	理科	14:10 ~ 15:00 (50分)

◎ 今後の日程について

- (1) 選抜結果の発表 3月16日(水) 午前10時
 (2) 第二次募集実施校等発表 3月16日(水) 午後3時30分
 (3) 補欠合格者発表(全日制) 3月18日(金) 午後2時

(別紙)

令和4年度学力検査について

令和4年(2022年)3月8日

【全体の出題概要】

令和4年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、中学校学習指導要領(平成29年告示)に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 1 学習の到達の状況を把握するため、総合的に学力をみることができるよう、基礎的・基本的な内容と応用的な内容について均衡を図って出題した。
- 2 知識及び技能の習得状況を適切に測る内容を出題するとともに、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を測る内容を重視した問題を出題した。

【各教科の出題概要】

(国 語)

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域と、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、伝統的な言語文化に関する各事項について、相互の関連や均衡に配慮しながら、基礎的・基本的な知識及び技能に加え、思考力、判断力、表現力等を総合的にみることとした。

- 1 国語に関する基礎的・基本的な力をみるとともに、文章の種類を踏まえて、登場人物の心情や筆者の主張、物語や論理の展開の仕方などを適切に捉える力をみることとした。
- 2 複数の文章や図表などを結び付けながら適切に内容を解釈し表現する力をみるとともに、国語に関わる知識及び技能を実生活の様々な場面で活用する力をみることとした。
- 3 作文の問題について、目的や意図に応じて必要な材料を集め、適切に整理し、自分の考えを分かりやすく伝える力をみることとした。

(社 会)

地理・歴史・公民の各分野間の関連や均衡に配慮しながら、社会的事象についての基礎的・基本的な知識や概念の理解、技能の習得状況をみるとともに、社会的な見方・考え方を働かせて課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることとした。

- 1 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解、技能の習得状況をみることとした。
- 2 知識及び技能を活用して、多様な資料から情報を読み取り、適切に表現する力をみることとした。
- 3 複数の資料を用いて、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察する力をみることとした。

(数 学)

「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の4領域及び各学年での学習内容の均衡に配慮しながら、基礎的・基本的な内容についての知識及び技能の習得状況をみるとともに、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等をみることにした。

- 1 基礎的・基本的な内容について、概念や原理・法則などの理解及び事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能の習得の程度をみることにした。
- 2 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力をみることにした。
- 3 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力をみることにした。

(理 科)

第1分野、第2分野及び各学年での学習内容の均衡に配慮しながら、観察、実験を題材とした事項を中心に出题し、自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況や原理・法則の理解の程度をみるとともに、科学的な思考力、判断力、表現力等をみることにした。

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況、概念や原理・法則の理解の程度をみることにした。
- 2 見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、考察したことを適切に表現する力をみることにした。
- 3 日常生活や社会との関連を重視した科学的に探究する活動を行うことを通して、検証できる仮説を設定する力や仮説の妥当性を検討したり、考察したりする力をみることにした。

(英 語)

「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の五つの領域の関連や均衡に配慮しながら、英語の知識を実際的な言語の使用場面において活用する力、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、理解していること・できることを使う思考力、判断力、表現力等をみることにした。

- 1 日常的な話題に関する対話などを聞いて、概要を捉える力、適切に応答する力、必要な情報を聞き取る力をみることにした。
- 2 まとまりのある文章を読んで、概要や要点を捉える力、目的に応じて必要な情報を読み取る力などをみることにした。
- 3 コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、伝える内容を整理し、英語で書いて伝える力をみることにした。